

橋梁等に関する新技術デモンストレーション体験会2.0 結果報告

2025年10月16日(木)開催（大阪市旭区太子橋2丁目豊里大橋南詰 高架下）
主催 大阪府道路メンテナンス会議（事務局 大阪国道事務所）

道路メンテナンス分野が直面する人手不足や予算制約、点検費用の高騰といった課題に対応するため、点検の合理化・データ連携・DX導入を推進し、「点検・診断・設計・補修」の一連のサイクルを通じて、府内道路施設の安全確保と長寿命化を図ることを目的とした、大阪独自の取組です。

今回は、府下の道路管理者、建設コンサルタント、土木工学を学ぶ大学生など約160名（関係者を含め約220名）が参加。26社の出展企業によるドローン点検（橋梁・水中）、コンクリート診断（内部・表面）、舗装・空洞調査、鋼材モニタリング、デジタル支援技術の7ブースで、体験型の実演イベントが繰り広げられました。



開会



鋼材モニタリング



舗装・空洞



水中ドローン



コンクリート診断（内部）



コンクリート（表面）

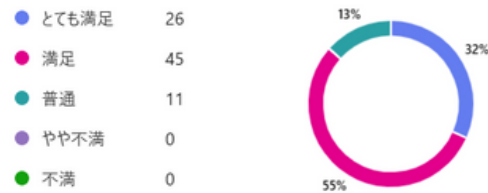


デジタル支援系



参加者向け事後アンケート結果（回答数：82）

全体の満足度を教えてください。（5段階）



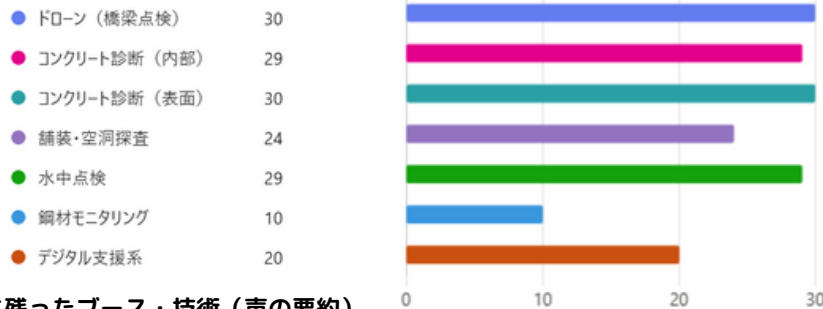
全体満足度の理由（声の要約）

- ・実機・実演を見ながら説明を受けられ、短時間で多様な最新技術を把握できた点が高評価。
- ・メーカーの熱意ある解説で、疑問点を現場で解消できた／比較検討が進んだとの声。
- ・より「体験」できるメニューが増えるとさらに良い、という期待も。

コメント

- ・「資料だけでなく“動いている技術”を見られ、理解が一気に深まりました。」
- ・「同分野の複数技術を同場で比較でき、検討が効率的でした。」
- ・「説明が丁寧で、現場での活用イメージがつかめました。」

特に印象に残ったブース・技術はどれですか？（複数選択可）



印象に残ったブース・技術（声の要約）

- ・ドローン点検：GNSS不安定下での安定飛行、近接撮影、自動運用の実力が印象的。
- ・コンクリート診断（表面・内部）：原理と限界を学び、精度向上を実感。
- ・赤外線・AI解析：偏光赤外線や画像解析の進化、報告書自動化への期待。
- ・舗装・空洞調査：陥没予防への具体的活用像が明確に。
- ・水中ドローン：濁水下でもソナー・画像処理で補う点、運用資格のハードル感の低さ。
- ・鋼材モニタリング：鋼部材の損傷や腐食を定量的に把握できる点が評価され、長期モニタリングや劣化進行の可視化が今後の維持管理の鍵になるとの声。
- ・デジタル支援系：省力化：調書作成・管理支援など実務負担軽減に直結。

コメント

- ・「近接での高精細撮影や自動運用など、ドローンの進化を体感。」
- ・「濁りを補う水中ドローンの工夫に納得。現場適用の幅が広がる。」
- ・「表面・内部診断の精度が上がり、提案の説得力が高まりそう。」
- ・「AI解析と報告自動化に期待。作業負担が確かに下がる手応え。」
- ・「鋼材の劣化を“見える化”する技術。長期維持管理の可能性を感じた。」

今回の体験会は、ご自身にとってどのように役立ちましたか？

役立った点・印象に残ったこと（声の要約）

- ・導入事例や各社の“こだわりの違い”を直接確認でき、技術選定の判断材料が増えた。
- ・画像解析レベル・赤外線活用など、最新水準を実物で学べた。
- ・調査だけでなく、調書作成や管理の新技术を知れ、実務の効率化に結びつく。
- ・参加者同士・企業とのネットワークづくりにも寄与。

コメント

- ・「実演と対話で“採用の決め手”が具体化。すぐに提案へ活かします。」
- ・「最新の解析・赤外線の使い方をアップデートできました。」
- ・「調書作成の効率化ツールは、現場以外の業務にも効くと実感。」
- ・「実務者同士の横連携が進み、次の相談につながりました。」

今後の開催に向けて、改善点やご意見をお聞かせください。

改善点・今後への期待（声の要約）

- ・プログラム・回遊性：見たい技術が重ならない時間設計／説明開始時刻の明確化／2日開催や説明時間短縮の検討。
- ・視認性・音声：屋外での画面・音を補うスクリーン／マイク・スピーカー強化、開始アナウンスの徹底。
- ・レイアウト・導線：グループ区分や会場図・サインの強化、桁下活用、実構造物でのデモ比率UP。
- ・休憩・滞在性：座席・休憩スペースの拡充、昼食案内／予約運用の改善。
- ・周知・対象拡大：他機関連携による広域周知、学生参加の増加、橋梁外（附属物・トンネル等）への展開。
- ・継続性：同一橋での年次比較や、レベルIII～IVの橋での実地検証への関心。

コメント

- ・「説明時間の重なり解消や2日開催など、さらに回遊しやすい設計に期待。」
- ・「屋外環境でも見やすく・聞き取りやすくなる工夫を希望します。」
- ・「会場サインと導線の明確化で、初参加でも迷わない体験へ。」
- ・「座席・休憩の拡充で、長時間でも学び続けやすい会場に。」
- ・「対象構造物の拡大や継続開催で、技術の進化を追える場に。」

産官学が力を合わせ、現場DXのリアルを共有する一日。ご参加・ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。次回は、さらに“回りがやすく・見やすく・学びやすい”体験会へ。大阪から、インフラ維持管理の新たなスタンダードを、これからも発信していきます。

（文責：辻脇崇）



国土交通省
近畿地方整備局

【お問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所
〒536-0004 大阪市城東区今福西2丁目12番35号
代表電話番号 06-6932-1421（受付時間9:15～18:00）
ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/osaka/>

ホームページ



